



報道発表資料の配付日時 4月15日(金) 15:00

発表項目 (行事名)	「青函圏フォーラム」の開催(動画配信)について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>青函圏交流・連携推進会議では、青函圏における交流・連携による取組を一層推進するため、次のとおり「青函圏フォーラム」を開催することとしましたので、お知らせいたします。今回は、令和3年7月に「青函圏交流・連携ビジョン」を策定し、当該ビジョンにおいて「人財」を通じた青函圏の魅力づくりを新たに盛り込んだことから「未来の青函圏を担う人づくり」をテーマとしたものとなっております。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、動画サイトを通じて配信する形式としました。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 青函圏フォーラム(動画配信) (1) 主催：青函圏交流・連携推進会議 (2) テーマ 「未来の青函圏を担う人づくり」 (3) 開催内容 別添チラシをご参照ください。</p> <p>2 動画配信 (1) ユーチューブの下記URLに動画を公開します。 https://www.youtube.com/channel/UCxAaluXVnlczmk-QyPFAIRw (2) 公開日 令和4年(2022年)4月15日(金)から公開</p>		
参考	<p>青函圏交流・連携推進会議は、北海道の道南地域(渡島・檜山)と青森県を対象とする産学官の団体が参加する組織です。青函圏が人口減少社会を迎えても活力あふれる圏域として維持・発展できるよう、令和3年7月には「青函圏交流・連携ビジョン」を策定しました。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	渡島道政記者会、 青森県庁記者クラブ	
担当 (連絡先)	(問合せ先)	総合政策部地域創生局地域政策課(担当者：佐藤) TEL 011-204-5800	
	(事務局)	渡島総合振興局地域創生部地域政策課新幹線推進室 (担当者：榎塚) TEL 0138-47-9417(直通)	



青函圏フォーラム

青函圏における交流・連携による取組を一層推進するため、各種団体の活動事例の発表などを通じ、多様な主体による取組の促進を図り、活力あふれる圏域として維持・発展できることを目的に開催します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から動画サイトを通じて配信する形式としました。



公開日 令和4年4月15日（金）

公開先 ユーチューブの下記URLに動画を公開します。

<https://www.youtube.com/channel/UCxAa1uXVnlczmK-QyPFAIRw>

開催テーマ「未来の青函圏を担う人づくり」

- 「青函圏交流・連携ビジョンの策定について」
北海道総合政策部地域創生局地域政策課長 笹森 稜
- 基調講演「これからの青函圏と人財の育成」
国立大学法人北海道教育大学函館校 奥平 理氏

函館市生まれ。1991年広島大学大学院文学研究科地理学専攻博士課程修了後、函館中部高校教諭、函館工業高等専門学校教授などを歴任。2020年から北海道教育大学函館校准教授。永年にわたり函館でまちづくりに携わり、住民参加型の観光振興・まちづくりを目指した活動を行っている。

- 事例発表 縄文DOHNANプロジェクト
代表 山田 かおり氏

函館市生まれ。短大卒業後、群馬県の民間企業へ入社。その後、函館市へUターンし、2019年7月、「縄文DOHNANプロジェクト」を立ち上げ。縄文の暮らしを伝える紙芝居や、地域企業とのタイアップ商品の展開など、道南の貴重な文化遺産に着目し、世代や立場を超えて人と人をつなぐ活動を行っている。

- 事例発表 青森商工会議所
理事・中小企業相談所長 鈴木 匡氏

青森市生まれ。青函トンネルが開業した1988年、青森商工会議所に採用。その後は幅広い商工業振興事業に従事。2010年の東北新幹線全線開業を契機とする地域活性化事業として官民が連携する体制整備や観光コンテンツづくりなどを担当。2021年、理事・事務局次長・中小企業相談所長。



主催：青函圏交流・連携推進会議